

## お知らせ



国土交通省  
中国地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

平成26年12月15日

資料提供先

岡山県政記者クラブ

岡山市政記者クラブ

## 百間川分流部：江戸時代から遺る堤防が今明らかに！？

～発掘調査現場を公開します～

百間川分流部の「一の荒手及び背割堤」・「二の荒手」は、岡山県の埋蔵文化財包蔵地に認定されています。

このたび、百間川分流部改築の工事着手に先立ち、江戸時代築造とされる「背割堤」を開削調査しました。堤防の開削調査は貴重な事例のため、以下のとおり、現場公開しますのでお知らせします。

現地公開では、岡山県古代吉備文化財センターが歴史的な観点から発掘調査の結果を、岡山河川事務所が岡山大学と連携して行った調査の結果をそれぞれ説明します。

### 記

日時：平成26年12月22日（月） 13:30～15:00（予定）

※少雨決行ですが、悪天候により中止する場合があります。

集合場所：今在家河川防災ステーション（岡山市中区消防署・水防センター）

駐車場横の広場 岡山市中区今在家地先（別紙位置図参照）

※見学場所まで徒歩で10分程度移動します。

※駐車スペースに限りがありますので、乗り合わせてお越し下さい。

〈補足説明〉

岡山河川事務所では、文化財保護法に基づき、工事着手前に岡山県へ背割堤の埋蔵文化財発掘調査を委託し、12月1日（月）より岡山県古代吉備文化財センターが開削調査を行っています。

□問い合わせ先

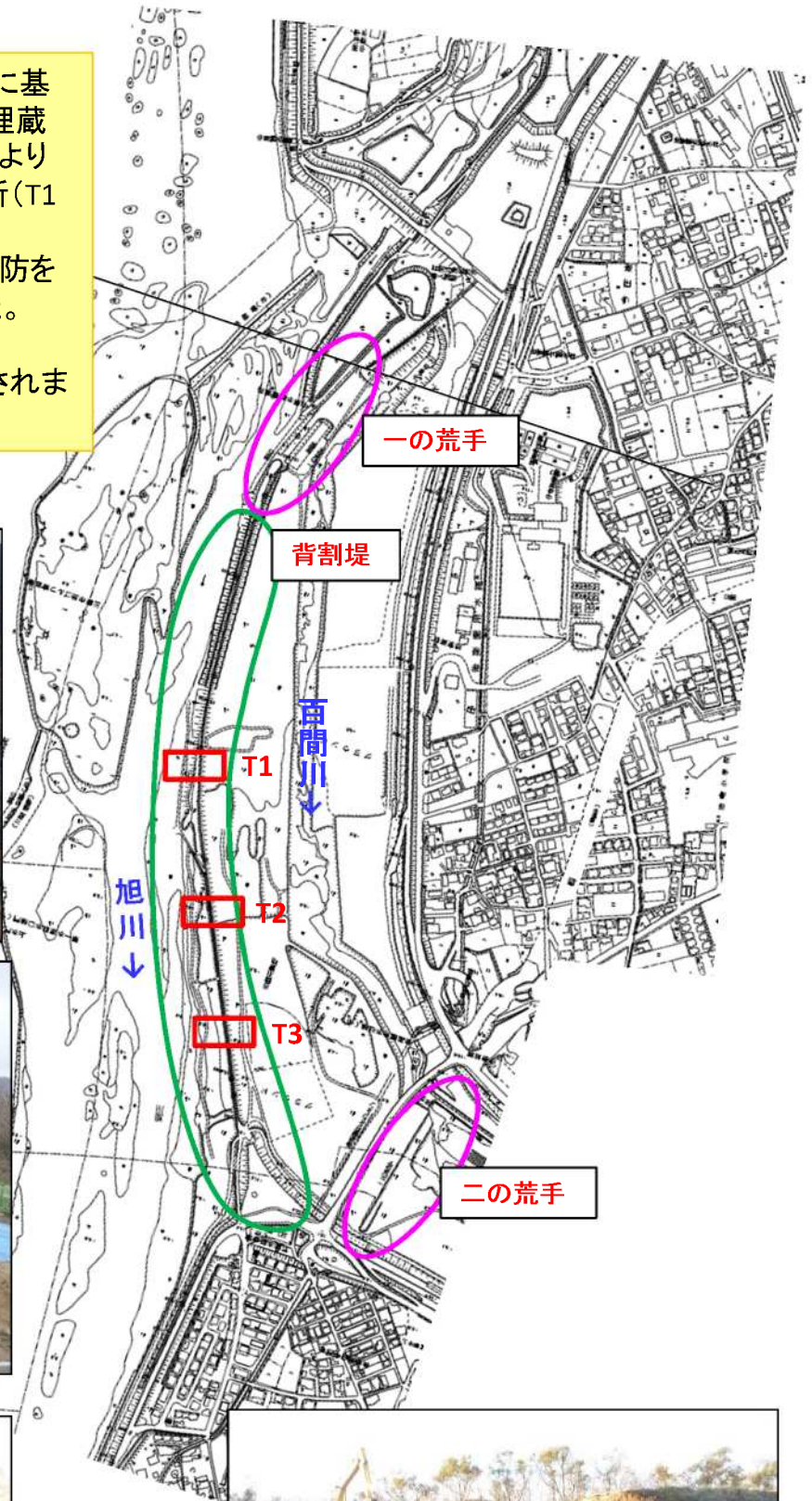
国土交通省 中国地方整備局 086-223-5101（代表）

岡山河川事務所 副 所 長 かわしま 川島 あきまさ 明昌（内線 205）（計画担当）

工 務 課 長 おおつか 大塚 たかし 尚志（内線 311）（工事担当）

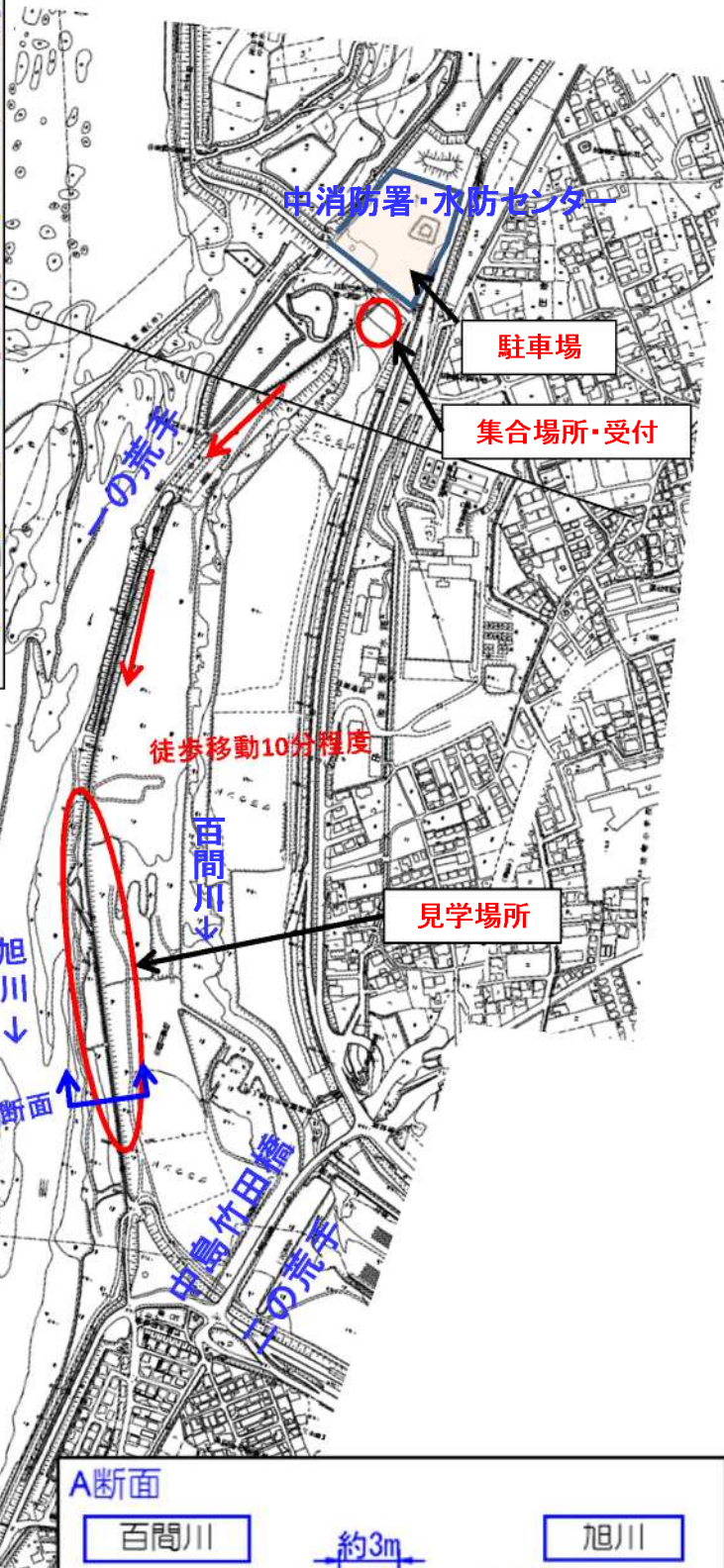
# 背割堤発掘調査状況

- 岡山河川事務所では、文化財保護法に基づき、工事着手前に岡山県へ背割堤の埋蔵文化財発掘調査を委託し、12月1日(月)より岡山県古代吉備文化財センターが3箇所(T1～T3)の開削調査を行っています。
- T1:旭川側に石積の護岸と根固め、堤防を段階的に盛土された層が確認されました。
- T2:石積等は確認されませんでした。
- T3:百間川側に石積みの護岸が確認されました。



# 現地見学会位置図

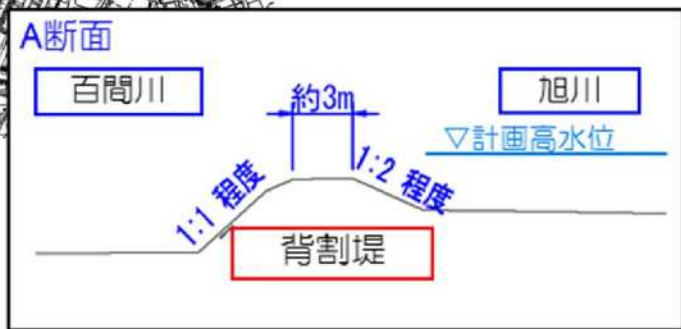
百間川分流部:岡山市中区今在家～中島地先



今在家河川防災ステーション



背割堤 (A断面から上流をのぞむ)



背割堤横断イメージ (A断面)